

語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 米大統領の英語 (11) (A Basic Way of Reading Trump-Language)

後藤 寛

メキシコ国境の状況から Trump 大統領は3月には国家非常事態宣言 (national emergency declaration)を出した。議会は無効決議したが、彼は拒否権(veto)を発動した。議会はこれを覆す再可決を求めたが賛成多数には至らなかった。また、彼は軍事戦略上で重要な中東のゴラン高原 (the Golan Heights)のイスラエル主権を承認した。これによりまた中東情勢の緊迫化が懸念もされている。さらに、2016年大統領選でのロシア疑惑捜査報告書では共謀(collusion)は認定されず、捜査の司法妨害(obstruction of justice)も証拠不十分とされた。これで事実上、彼の弾劾(impeachment)はないことになる。

一方、時の流れをさかのぼるが、昨年上半期から秋にかけ米国は特に対北朝鮮・ロシア・中国関係、そしてメキシコ・カナダ・日本との貿易摩擦の問題に関心を向けていた。今回はカナダとの貿易摩擦に関する短い1例のみの語彙論的語釈(lexicological word interpretation)とする。

I love Canada, but they've taken advantage of our Country for many years! (September 1, 2018)

▲Trump 氏の対カナダ姿勢がよく見える。カナダは米国を利用しているという内容で、メキシコとの合意後も NAFTA (北米自由貿易協定) に彼は不満であった。ただその後 (9月末)、米加も合意をみた。なお、同時期の国連総会中に日本と新協定 [Trade Agreement on Goods (TAG): 物品貿易協定] を結び当面、日米の折り合いはついたが日本側は物品のみでサービスは含まないとし、米側との認識にズレのある協定となった。

太線の国名 Canada はインディアン語からで「村」の意味とされている。北米の特に西部・南部の地名はスペイン語由来が圧倒的に多いが、もちろん他言語由来もある。

次の太線語 advantage (有利) の PIE etymon は /ANT/ が定説で、この語に [ænt] の音の響きが感知できれば素晴らしい。antique (骨董品・古風な) などと同系で、原義は「前(before)にあること」である。[æns] の音声となる advance も同系語である。

太線語 Country は c が大文字書きである [Trump 氏は When referring to the U.S.A., I will always capitalize the word Country! とも言った (Oct. 19, 2018)]。Basic 語 **country** の PIE etymon は /KOM/ (末尾の音素は /M/) とされ原義は「反対側にあること」で、「町、都会の反対側の土地→田舎、国土」の意味である。Basic 語 **account, control** は同系。

account (計算・説明) は「向き合うこと」で、un-Basic 語の counter (カウンター) などとも同系である。店などの片隅の計算・支払いの場などをイメージすればよい。なお、country に対し county (郡) は count 「(王の側近の伯爵の) 領地」に由来する。また、音声的には account, county, count の母音は辞書的な [áu] ではなく、実際には [áú] に近くなる。control は {cont (=

opposite) + rol (= roll)} (反対側に転がすこと) の意味である。un-Basic 語 contrast (対比) など同系 [拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(95)参照]。

英語語彙を同上拙著では同系語の観点から 150 種に分類し、英語の約 10,000 語の本質的意味の推理が可能としたが、理屈的には Basic 本体の 850 語中のわずか 150 語からだけでもそれが可能なことになる。別な言い方をすれば、雑多な英単語の意味が 150 種程度に収束するとすれば、英語は 850 語どころか「150 語の織り成す有機的意味体系」だという理屈にすらなり得る [本連載(3)でも若干触れた]。それを表で提示する。

150 基本 Basic 語 [The 150 Basic Basic Words (BBW)]

— 150 語から 10,000 語の意味を感知するためのパノプティコン —

(注) 語の提示順は同上拙著での例番号に準ずる。

(1) water (2) keep (3) line (4) straight (5) stick (6) screw (7) drawer (8) push
(9) profit (10) for (11) touch (12) wind (13) grain (14) cord (15) wave (16) road
(17) current (18) cart (19) attention (20) thick (21) stomach (22) hand (23) step
(24) manager (25) river (26) foot (27) fact (28) mind (29) plane (30) complete
(31) arm (32) rule (33) experience (34) tree (35) be (36) present (37) soup (38)
bite (39) design (40) say (41) only (42) doubt (43) distribution (44) worm (45)
turn (46) condition (47) nose (48) seed (49) general (50) seem (51) root (52) sky
(53) cover (54) colo(u)r (55) point (56) question (57) company (58) mother (59)
bread (60) glass (61) sense (62) stage (63) seat (64) blood (65) grass (66) birth
(67) view (68) note (69) walk (70) operation (71) level (72) fall (73) chance (74)
agreement (75) knot (76) mark (77) slip (78) salt (79) waste (80) canvas (81)
board (82) cloth (83) light (84) loose (85) humo(u)r (86) band (87) selection (88)
scale (89) trade (90) value (91) position (92) insect (93) part (94) minute (95)
account (96) near (97) street (98) structure (99) past (100) event (101) acid (102)
power (103) force (104) living (105) quick (106) awake (107) process (108)
committee (109) move (110) machine (111) make (112) respect (113) complex (114)
curtain (115) house (116) by (117) paper (118) broken (119) act (120) dependent
(121) use (122) hospital (123) tooth (124) cause (125) animal (126) sound (127) go
(128) credit (129) healthy (130) out (131) in (132) division (133) angle (134) quiet
(135) rub (136) ball (137) let (138) reason (139) suggestion (140) mixed (141)
scissors (142) market (143) hate (144) science (145) flight (146) grip (147) night
(148) competition (149) authority (150) circle

上表は、**英語同系語パノプティコン (A Paronymic Panopticon of English : PPE)** [仮称] となりうる。これのアルファベット順に組んだ形のものを示しておきたい。

account, acid, act, agreement, angle, animal, arm, attention, authority, awake, ball, band, be, birth, bite, blood, board, bread, broken, by, canvas, cart, cause, chance, circle, cloth, colo(u)r, committee, company, competition, complete, complex, condition, cord, cover, credit, current, curtain, dependent, design, distribution, division, doubt, drawer, event, experience, fact, fall, flight, foot, for, force, general, glass, go, grain, grass, grip, hand, hate, healthy, hospital, house, humo(u)r, in, insect,

keep, knot, let, level, light, line, living, loose, machine, make, manager, mark, market, mind, minute, mixed, mother, move, near, night, nose, note, only, operation, out, paper, part, past, plane, point, position, power, present, process, profit, push, question, quick, quiet, reason, respect, river, road, root, rub, rule, salt, say, scale, science, scissors, screw, seat, seed, seem, selection, sense, sky, slip, stage, step, stick, sound, soup, stomach, straight, street, structure, suggestion, thick, tooth, touch, trade, tree, turn, use, value, view, walk, waste, water, wave, wind, worm

たとえば un-Basic 語 *acute* (鋭い)、*ache* (痛み)、*acid* ([味など] ぴりっとする・[言葉など] とげとげしい)、*acme* (極致)、*ax* (斧)、*acupuncture* (鍼療法)、*acrobat* (アクロバット) などは、PIE etymon の語根音形 (音素形) /AK/ が発生源とされ、何でも「鋭いこと」が原義である。上表 (パノプティコン:PPE) の番号では(101)の基本 Basic 語 **acid** が、これらの un-Basic 語と同系である。/K/は音声[s]ともなった。

また、*agony* (苦闘・苦しみ)、*antagonize* (敵対する)、*agent* (代理人・薬剤)、*agitate* (扇動する) などは、PIE etymon の音素形 /AG/ が発生源とされ「行動を起こすこと」が原義である。上のパノプティコン(PPE)では(119)の基本 Basic 語 **act** が同系である。プラス α Basic 語では *agency*, *active*, *exact* がやはり同系 [本連載(1)の⑦でも若干扱った]。PIE etymon の /AK/ と /AG/ は同系列でもある。音声とスペリングの関係の *phonics* (フォニックス) とも関わるが、音感と語感の感知に慣れてくると類推も楽になる。

たとえば *They were in a quandary how to do with the prisoners.* はどういう意味か？ 下線語 *quandary* は上表 PPE(56)の 150 基本 Basic 語 **question** と同系(*paronymic*)ではないか？ と瞬時に直感し、「彼らは囚人たちをどう扱うかで困惑した」のような意味と推測できれば相当な域にある。これは[kwe]とか[kwɔ]の音感からくる語感となる。

同系語の感知に習熟するには「カルタ取り」によるのもよい。同上拙著で提示の i) PIE (印欧祖語) の語根(etymon)の音素形、ii) Basic 語、iii) un-Basic 語の 3 種を 10 枚ずつカードに書き、合計 30 枚から 3 枚ずつを同系一組として分類し、十組にそろえる作業をするのである。